

令和4年度 第1回八戸市地域保健医療対策協議会（書面開催）

意見及び回答

作成日：令和4年9月20日

○御質問

保健所業務概要 39ページ中、(3) 各地区健康相談

- 2年度からの同じ環境にも関わらず、実績数が多い数字を見て、担当者の努力に感謝するとともに、増えた要因は何だったのか知りたい。

回答) 健康づくり推進課

健康相談事業は、町内会など主催者から依頼があった場合に実施しているものです。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症のため健康相談事業がほぼ中止となりましたが、令和3年度は、感染状況を踏まえたうえで地域の保健推進員の協力を得て感染防止対策をとりながら実施したため実績が増えたものと考えております。

保健所業務概要 40ページ中、3. 健康診査

- 健康診査の受診率の数字は、八戸市が望んでいる目標に達しているのでしょうか。また、全国的、県的にいって、市民の関心度の比率はどんなものなのでしょうか。全国的・県的な数値などがあったら知りたい。

回答) 健康づくり推進課

国保特定健康診査は、第2期八戸市国民健康保険データヘルス計画において、2年度の目標は45%、3年度は50%、最終5年度は60%を掲げておりますが、現状では目標達成に至っておりません。

後期高齢者健康診査は、各市町村が青森県後期高齢者医療広域連合から受託し実施しており、令和2年度と令和3年度の県の目標受診率は30%に設定されておりますが、当市の受診率は目標に達しておりません。

健康診査は、生活保護受給者などの医療保険未加入者を対象に健診を実施しており、目標とする受診率は設定しておりません。

受診率や目標値などに対する国民と県民の関心度の比率については、把握しておりません。

各健康診査の国と青森県の受診者数と受診率については、下記表をご覧ください。

①国保特定健康診査

	八戸市		青森県		国	
年度	受診者数	受診率	受診者数	受診率	受診者数	受診率
R1	11,020	31.5	84,755	38.0	7,053,089	38.0
R2	9,695	28.1	74,237	33.8	6,189,917	33.7
R3	9,597	28.1	(未算出)	(未算出)	(未算出)	(未算出)

②後期高齢特定健康診査

	八戸市		青森県		国	
年度	受診者数	受診率	受診者数	受診率	受診者数	受診率
R1	6,209	19.0	49,766	25.9	(未把握)	28.5
R2	4,947	15.3	44,419	22.9	(未把握)	25.8
R3	5,336	16.5	45,152	23.5	(未算出)	(未算出)

③健康診査（医療保険未加入者）

	八戸市		青森県		国	
年度	受診者数	受診率	受診者数	受診率	受診者数	受診率
R1	234	9.9	2,034	8.0	123,836	7.8
R2	213	9.4	1,852	7.3	112,558	7.3
R3	208	5.7	(未算出)	(未算出)	(未算出)	(未算出)

保健所業務概要 48ページ中、⑫中学生ピロリ検査

● 二次検査陽性者の（R2：6名、R3：27名）のその後の受診状況は分かりますか？

回答）健康づくり推進課

市では二次検査までの費用を負担しておりますが、陽性者の除菌治療は、下痢、味覚異常、アレルギー反応などの副作用があることから、八戸市医師会では高校生以降の除菌を推奨しており、除菌の時期など二次検査を受診した受託医療機関に相談し除菌治療を実施することになるため、除菌する場合の費用については自己負担としているもので、このことから陽性者のその後の受診状況について把握をしておりません。

保健所業務概要 56ページ中、【8】組織活動の育成及び支援

● 3つの団体が協力している情報から、1の食生活推進協議会の市の委託事業の実施とある。どんな事業を行っているのか知りたい。3のいちいの会は協力となっている。

回答）健康づくり推進課

市では、離乳食教室や幼児食教室など市主催事業への従事、食生活養成研修会等バランスの良い食事料理教室、おやこ食育教室・低栄養予防料理教室・糖尿病予防料理教室など地域における食生活改善講習会の実施を委託しております。

なお、令和2年度及び令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため、委託事業は中止しております。

保健所業務概要 84ページ中、(12)ヒトパピローマウイルス感染症の予防

● キャッチアップ接種について

平成9年度～平成17年度生まれの女性で過去にHPVワクチンの接種を合計3回うけていない方は、令和4（2022）年4月～令和7（2025）年3月の3回公費でHPVワクチンを接種できますが、この記載は不要でしょうか。

回答）保健予防課、保健総務課

今般の業務概要の掲載内容は令和3年度実績であり、御指摘の件につきましては、令和4年度からの内容となることから記載はいたしませんでした。しかし、来年度発行する令和4年度実績をまとめた業務概要からは記載を予定しております。

保健所業務概要 125ページ中、新型コロナウイルス感染症関連

● 今回の4年3月31日までの第6波感染についての今後に対する考察等あってもよいのでは。

回答）保健予防課

3月31日時点での第6波についての考察ですが、陽性者が急増していることから感染力の強いオミクロン株への置き換わりがおこっているものと考えております。また、連日陽性者が報告されており高止まりの状況であるといえるとともに、今後は、年度をまたぐことから人の流れも追加されることで陽性者が減少していく傾向にはならず収束のめどは立たないと推測していることから、引き続き基本的な感染対策が必要であると考えられます。

○御意見、御感想

保健所業務概要 58ページ中、【9】母子保健事業

● 子育てへのセンターの努力はこの大変な時期にもかかわらず、この実数には頭が下がります。こういう面からも、住みやすいまち、子育てがしやすいまちへの上位の八戸市になってくれることを期待します。

● 新型コロナウイルス感染拡大防止のための検査事業（無料検査）の実施の前に、他の県では薬剤師会に相談があったと聞いているので、できればご相談いただきたいと思います。

● コロナの感染状況が厳しさを増している中、日夜骨身を惜しまず精勤されていらっしゃる職員の方々に頭が下がります。深く感謝申し上げます。

● 健康危機管理体制の構築

新型コロナウイルス感染症の対応や体制整備など八戸保健医療圏における医療体制及び医療機関・団体の連携強化に尽力いただいておりますことに、感謝申し上げます。当所も刻々と変化する感染状況と制度にかかる課題を共有するとともに、感染拡大防止及び重症化予防に取り組んできましたが、今回の新規感染症患者数の急増は、貴所との連携の重要性を再確認する機会となっています。

● 保健医療計画及び地域医療構想の推進における中核市保健所の役割

医療計画において役割が明記されているわけではありませんが、貴所及び貴市の様々な事業が、医療計画及び地域医療構想の推進につながっております。事業の成果が住民の健康増進や安全・安心な暮らしの支えとなっていること自体が、医療計画や地域医療構想推進の基盤となっており、重要な役割を担っていただいております。

● 自然災害における地域連携

県内の災害事例からも、大規模災害に備えた災害医療はじめ体制整備は重要ですが、この二年間の活動が制限された面もあります。

東日本大震災被災地の勤務経験から、被災地市町村の活動から学んだことは、災害時保健活動の目的を共有するとともに、災害時保健医療ニーズの把握と活動の刻々と変化する被災地の状況に対応できる体制を構築することです。そのためにも地方公共団体における業務継続・受援体制がいかに大切であることを実感してきました。

これからも八戸市はじめ管内町村とともに、体制整備に努めます。